



2021年9月27日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹



太陽生命、「横浜冷凍株式会社」が発行する 「サステナビリティボンド」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、ESG投融資の一環として、横浜冷凍株式会社（以下、「同社」）が発行するサステナビリティボンド（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社が投資する本債券の調達資金は、漁業の振興や食の安全に貢献し、働きやすい作業環境や防災機能、優れた環境性能を有する冷蔵倉庫の建設資金に係るリファイナンスへ全額充当される予定です。

<本債券の発行概要>

発行体：横浜冷凍株式会社

名称：「第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）
（サステナビリティボンド）」（JCR格付：BBB）

※国際資本市場協会（ICMA）が公表する「サステナビリティボンド・ガイドライン」「グリーンボンド原則」「ソーシャルボンド原則」および環境省が公表する「グリーンボンドガイドライン」に準拠した、同社策定のサステナビリティボンド・フレームワークにもとづくサステナビリティボンド。

発行総額：100億円

償還日：2058年9月28日

※2028年9月27日以降の各利払日に発行体の裁量で期限前償還可能

SDGs：本債券によって調達された資金は、同社の事業を通じて、SDGsの下記目標の達成に貢献します。



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」（※）に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて、社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいります。

以上

（※）責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ESG）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。